

絵手紙に込められた思いを

昭和20年8月15日、太平洋戦争が終わったこの日の思いを絵手紙で表した、「私の八月十五日展」が開かれました。展示された作品は、漫画家や作家、俳優などが描いた150点。戦争の体験や平和への思いが込められた作品を前にし、感動した様子で見入る姿がありました。※展示会は、8月16日まで開催。

〔7月22日／千葉県立東部図書館〕



Public Relations

広報

あさひ

8/15 2009
No.100

明智市政がスタートしました



▲大勢の市民らが出迎える中初登庁し、職員から花束を受け取る明智市長（左）／7月31日

「ふれあい まごころ 思いやりの市政を」

ごあいさつ

今年も冷夏だといわれております。8月に入っても夏らしからぬ毎日が続いていますが、市民の皆さまにはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

去る7月19日行われました新旭市の第2回目の市長選挙におきまして、大勢の市民の皆さまからご支援を頂きまして、第2代の市長に当選させていただきました。誠に身に余る光栄であり、今その責任の重さをひしひしと感じているところであります。7月31日には市役所玄関ロビー、前庭まで職員と市民の皆さまや後援会の皆さまの温かい出迎えを受けまして、初登庁をさせていただき、市長職のスタートを切った次第であります。

今旭市は、合併後5年目に入りました。これまでの4年間、伊藤市政は合併協議会で慎重に練り上げました新市建設計画を基に、すべての分野で一体感の持てるまちづくりを目標に、合併して必要な事業を展開してきたものであり、加えて小中学校の耐震補強や改築などは、国に先駆けて実施したわけであります。市民の皆さまにも大いなる評価をされる事であると思っております。そして道路や公園などインフラ整備も着々と進み、活力のある、元気なまち、旭として県や周囲の市町

プロフィール

明^{あけ}智^ち忠^{ただ}直^{なお}
昭和18年生まれの66歳。西足洗在住。
農業を営むかたわら、市農業委員、市消防団長、千葉県消防協会副会長、市議会議長などを歴任しています。

から大きな評価をされているところでもあります。私は、これからの旭のまちづくりに取り組みに当たりまして、こうした基盤整備の現状を踏まえ、継続してよりスピードアップしてやるべき事業、また財政や市民ニーズに照合してスピードダウンすべき事業を振り分けながら、市政運営のかじ取りをしていきたいと今決意を新たにしているところでもあります。そしてこれからの旭市のさらなる発展に欠かすことのできない、心の一体感、つながりが何としても必要であります。地域間の連携、人間関係を構築するために、最大の力を注いでいきたいと考えているところであります。

合併してこれほど恵まれた地域、そう全国でもないと思っております。平坦な地形、温暖な気候、そして海、田園、食の供給、医療、福祉、人のぬくもりと、市を取り巻く環境は日本一といっても過言ではないと思えます。こんな素晴らしい市を、市民一人ひとりの力を結集して全国へ発信していきたいと思えます。私もこれまでの経験や旭への思い、情熱のすべてを傾け、全身全霊をかけて頑張りますので、市民の皆さまの絶大なるお力添えをお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



8月30日～9月5日は防災週間

家庭で話そう 防災対策

大正12年9月1日に起きた関東大震災の教訓を生かし、災害に対する認識を新たにするとともに、毎年9月1日を「防災の日」とし、8月30日から9月5日までを「防災週間」と定めています。

近年では、地震・台風・集中豪雨といった自然災害が、毎年のように全国各地で発生し、大きな被害をもたらしています。地域に関係なく、いつ自然災害が起きてもおかしくない状況となっています。

この機会に、いざというときにも慌てることのないよう、各家庭でも防災対策を見直してみましょう。

○日ごろからの心構え

自然災害の発生を予測することは困難ですが、いざというときに落ち着いて的確な行動が取れるように、日ごろから防災に関する意識を高め、万全の心構えと準備をしておくことで、少しでも被害を少なくすることができます。

家庭や学校、職場などで防災についての話し合いや非常用品などの再点検をしましょう。

○地域の力で被害を最小限に

突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や子ども、障害者、傷病者、外国人など何らかの手助けが必要な人です。日ごろから地域でコミュニケーションを取り、いざというとき協力し合いながら支援していきましょう。

○災害に対する備え

【地震】

- ・家具の転倒、落下防止、出入口の確保
- ・ブロック塀、門柱の補強
- ・非常時持出品、備蓄品の確認
- ・災害時の連絡方法や避難場所の確認

【風水害】

- ・ひび割れ、がたつきなど、窓や雨戸の点検

- ・トタンのめくれなど、屋根や外壁の点検
- ・飛ばされやすいものは屋内へ
- ・停電に備え、懐中電灯やラジオなどの準備
- ・災害時の連絡方法や避難場所の確認

○土砂災害警戒情報

今年7月には、中国地方を中心に各地で集中豪雨による土砂災害が発生し、多大なる被害をもたらしました。このような、土砂災害による被害の防止・軽減のため、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、市町村長が避難勧告などを発令するときの判断や、住民の自主避難の参考となるよう、千葉県と銚子地方気象台が共同で発表する防災情報が「土砂災害警戒情報」です。

「土砂災害警戒情報」は市町村単位で発表され、報道機関や防災無線などを通じて住民の皆さんに伝えられます。

○土砂災害の前兆現象

次のような現象の直後には、土砂災害が起こる可能性があります。察知した場合は、すぐに安全な場所へ避難するとともに、市役所へ通報をお願いします。

- ・山鳴りがする
- ・斜面から水が噴出する
- ・地面にひび割れができる
- ・井戸の水が濁る
- ・小石がパラパラ落ちてくる

※土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

○土砂災害ハザードマップ

現在千葉県では、土砂災害の危険度が高い場所を、「土砂災害警戒区域」に指定するための基礎調査を行っています。市では、この結果を基に「土砂災害警戒区域のハザードマップ」を作成し、対象住民に配布する予定です。

○災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には、電話がつながりにくくなります。そうした場合には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」171へダイヤルしてください。

旭地域へ新しい戸別受信機を配布します

9月から年度末にかけて、旭地域へ新システム対応の戸別受信機を配布します。

現在、使用しているすべての戸別受信機が無料交換の対象となり、また新規の世帯にも無料で貸与します。

配布は、体育館などを利用した一斉配布と、各戸訪問による戸別配布を並行して行い、小学校区や行政区単位で順次行っていきます。

時期や場所については回覧板や防災無線など（一部地域は、はがき）でお知らせします。

※新システムの防災行政無線は、地域ごとに戸別受信機の設定が異なるため、住んでいる地域以外での受領はできません。該当地区での配布まで待ってください。

〈問い合わせ先〉

総務課交通防災班 (☎62-5311)

ずっとずっとい笑顔

お年寄りの暮らしを支える 福祉サービス



市では、介護予防やひとり暮らしのお年寄りの生活を支えるために、高齢者に対するさまざまなサービスを提供しています。お年寄りの状態や家庭の状況に応じて、自分に合ったサービスを利用しましょう。

*高齢者＝市内に住む65歳以上の人です。

生活支援事業

生きがい活動支援通所事業

要介護認定において非該当と認定された高齢者が、デイ・サービスセンターで日常動作訓練や健康チェック、入浴、食事をして、要介護状態への進行を予防します。

費用／1日 500円（または300円）＋食費

地域ふれあい交流事業

ひとり暮らしの高齢者などが地域ごとに集まって、趣味や健康講座を行い、食事をしながら地域住民と世代間の交流を図ります。また、仲間づくりを行うことで、閉じこもりを防ぎます。

費用／無料

軽度生活支援事業（ホームヘルパー派遣）

要介護認定において、非該当と認定された高齢者だけの世帯が自立した生活を続けられるよう、軽度の日常生活の援助（調理や掃除など）を行うサービスです。

【費用】

◇1時間未満 180円または230円

◇1時間以上1時間30分未満 230円または290円

緊急通報装置の設置

ひとり暮らしの高齢者などに、日常生活の不安解消と緊急時の連絡のため、緊急通報機能の付いた多機能電話とペンダントを貸し出します。

費用／所得の状況で一部負担あり

はり・きゅう・マッサージなどの利用助成事業

70歳以上の高齢者に、はり・きゅう・マッサージまたは指圧費用の一部を助成します（市に登録された業者を利用した場合のみ）。

助成額／1回 1,000円（年間12枚）

老人性白内障補助眼鏡等費用助成事業

市民税非課税世帯の高齢者が、白内障手術後に補助眼鏡などを作った場合に、費用の一部を助成します。

助成額／20,000円（二対）
外出支援サービス事業

一般の交通機関やタクシーなどの利用が困難な高齢者、または身体障害者で下肢の不自由な40歳以上の人が医療機関などの送迎に利用できます。

費用／片道100円または300円

介護老人福祉手当支給事業

自宅で常にと寝たきり状態にある高齢者で要介護4または5と認定された人、またはその介護者に、福祉手当を支給します（医療機関に入院した場合、または介護保険施設に短期入所した場合は除きます）。

支給額／月額10,650円

地域支援事業

通所型介護予防事業

健診時などの元気度チェックで特定高齢者と認められた人を対象に、個々の目標に応じた運動プログラムにより運動機能の向上を図ります。

場所／介護予防拠点（やすらぎ園パワーアップセンター）

費用／1回 500円

生活管理指導短期宿泊事業

要介護認定を受けていない高齢者に、短期間の宿泊による日常生活の指導、支援を行い、要

介護状態への進行を予防します（6か月で14日以内）。

費用／事業費の1割を負担
住宅改修費用助成事業

要介護認定を受けていない高齢者が、暮らしやすい住宅に改修するため、費用の一部を助成します。

助成額／改修費の2分の1（限度額180,000円）

配食サービス事業

ひとり暮らしなどで調理が困難な高齢者に、バランスの取れた食事を届け、併せて安否の確認を行います。

費用／1食 300円（昼食）

紙おむつ給付事業

自宅で暮らす高齢者のうち、寝たきりや認知症などで常時失禁状態にある人に、紙おむつを給付します。

給付枚数／年間360〜700枚（所得状況、介護度で枚数が変わります）

訪問介護利用者負担額助成事業
要介護認定を受けて、訪問介護サービスを利用している低所得者に、利用者負担額の一部を助成します。

助成額／利用者負担額の2割

〈問い合わせ先〉

高齢者福祉課高齢者班

☎6215350

8月30日(日)は衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

の投票日です



一票に明るい社会の夢のせる

皆さんの政治に対する考えを、国政に反映させる大切な選挙です。自分の判断で、信頼できる人を選びましょう。

投票

日時／8月30日(日) 午前7時～午後8時

開票

日時／8月30日(日) 午後9時10分～(予定)

場所／旭市総合体育館

投票できる人

今回の選挙で投票できる人は、次の2つの要件を満たす人です。
①平成元年8月31日以前に生まれた人。
②平成21年5月17日以前から選挙日まで、引き続き旭市に住んでいる人。

投票の方法と流れ

①小選挙区選挙⇒候補者の氏名を書いて投票。
②比例代表選挙⇒政党などの名称を書いて投票。

③最高裁判所裁判官国民審査⇒

やめさせたいと思う裁判官の氏名の上の欄に×の記号を書いて投票。

投票所の入場券は

投票所の入場券は、はがきで届けます。1枚のはがきに4人までの入場券が印刷してありますので、自分の入場券を切り離し投票所へ持参してください。紛失した場合や届かなかった場合でも「選挙人名簿に登録されている人」であれば投票できますので、問い合わせてください。

選挙公報は新聞折り込みで

候補者の氏名、経歴、政見、写真などを掲載した選挙公報は、新聞折り込みで配布するほか、市役所などの市施設に備え置きます。届かない家庭には郵送します。届かない家庭には郵送します。届かない家庭には郵送します。届かない家庭には郵送します。

投票日に投票所に行けない人は

期日前投票・不在者投票を
投票日当日に冠婚葬祭、仕事、レジャーなどで投票所に行けない人は、期日前投票または不在

●衆議院議員総選挙／8月19日(水)～29日(土)
●最高裁判所裁判官国民審査／8月23日(日)～29日(土)

〈時間〉
午前8時30分～午後8時

〈場所〉

旭市役所、海上支所、飯岡支所、干潟支所

※住んでいる地域を問わず、いずれの場所でも投票できます。

郵便による不在者投票など

身体障害者手帳または戦傷病者手帳の交付を受け、一定の障害を有する人や、介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」の人は、郵便で不在者投票ができる場合があります。また、遠隔地に滞在中の人などが不在者投票のできる制度もあります。これらの制度を利用したい人は、早めに問い合わせてください。

〈問い合わせ先〉

選挙管理委員会(総務課内)

☎62-5310

投票所一覽

投票区	投票所	投票区	投票所	投票区	投票所
1	旭市立中央小学校体育館	13	旭市立琴田小学校体育館	25	旭市立飯岡小学校体育館
2	旭市商工会館	14	やすらぎの家	26	行内青年館
3	旭市保健センター	15	旭中央病院東体育館	27	飯岡保健センター
4	旭市立干潟小学校体育館	16	旭市青年の家体育館	28	旭市立三川小学校体育館
5	旭市立矢指小学校体育館	17	見広農村協同館	29	目那区民館
6	足川浜区集会所	18	倉橋やすらぎの家体育館	30	埴農村協同館
7	旭市立富浦小学校体育館	19	蛇園区民館	31	萬歳地区多目的研修センター
8	中谷里浜青年館	20	旭市立滝郷小学校体育館	32	関戸ふれあいセンター
9	旭市立豊畑小学校体育館	21	岩井青年館	33	旭市干潟支所
10	井戸野浜集会所	22	海上体育館研修室(旧海上中)	34	ふれあいセンター
11	旭市立共和小学校体育館	23	旭市立嚶鳴小学校体育館	35	農村環境改善センター
12	元締区コミュニティセンター	24	永井岡区民館	36	コミュニティセンター

平成21年全国消費実態調査に協力を

9月から11月までの3か月間、全国消費実態調査が実施されます。この調査では、家計の実態を把握します。調査結果は、国や地方公共団体が行う各種経済・社会諸施策や研究機関などで行う消費・経済分析のための貴重な基礎資料となります。調査員が訪問しますので、協力願います。

一総務省・千葉県・旭市一
調査対象／口の一部・共和地区新町の一部世帯

問い合わせ先／市役所企画課統計班
(☎62-5367)

平成21年度 赤十字活動資金(社資) 募集結果

赤十字運動月間(5～6月)に協力していただいた日本赤十字活動資金は国内外の災害救護活動をはじめ、献血、医療などに活用されます。

赤十字活動資金募集結果

内 訳	金額(円)
一般社資	8,254,143
法人社資	1,835,500
合計	10,089,643

[日本赤十字社千葉県支部旭市地区]

危険物取扱者保安講習会

講習日／10月2日(金)

場所／銚子市青少年文化会館

受付期間／8月24日(月)～28日(金)

受付場所／旭市消防本部予防課

※受講申請書は、消防本部予防課にあります。

問い合わせ先／消防本部予防課危険物班(☎63-5356)

労災職業病なんでも相談会開催

日時／9月26日(土) 午後1時～4時

会場／千葉中央コミュニティーセンター61講習室

費用／無料 ※当日受け付け

問い合わせ先／千葉中央法律事務所(☎043-225-4567)

千葉テレビで放送

旭市七夕市民まつり

いいおかYOU・遊フェスティバル

8月16日(日) 午後6時30分～

<再放送>

8月20日(木) 午後3時30分～

お盆のお供え物は忘れずに処理しましょう

お盆には、仏壇に供えた野菜などを河川などに流す風習が残っています。しかし、そのままにすると腐敗・散乱し、環境が損なわれます。お供え物は、各自が責任を持って処理しましょう。

問い合わせ先／環境課(☎62-5328)

市税の夜間納税窓口

日時／8月25日(火) 午後8時まで

場所／税務課、各支所税務課分室

問い合わせ先／税務課収税班(☎62-5322)

今月の納期

- ◆市県民税 第2期
- ◆国民健康保険税 第3期
- ◆介護保険料 第3期
- ◆後期高齢者医療保険料 第2期

納期限は8月31日(月)です

国民年金保険料は毎月納付です

健康メモ

賢く食べてメタボ予防!

最近、メタボリックシンドロームという言葉をよく聞かれるのではないのでしょうか？

メタボリックシンドロームは、エネルギー代謝が身体の中でうまくいっていない状態をいいます。年齢を重ねることにいるいろいろな機能が低下していくことは避けられませんが、日常の心掛け一つで、低下に歯止めを掛けたり、代謝を上げたりすることが可能です。

そこで、エネルギー代謝効率を良くする、すぐにでも始められる食生活のヒントを、4つ紹介します。

①「たんぱく質」をしっかり取る

代謝を上げるには、「筋肉」の材料となる「たんぱく質」の補給が大切です。食べ過ぎは厳禁ですが、カロリーを気にし過ぎて食べる量が減ると、筋肉が落ちて代謝が下がり、かえって逆効果に。エネルギーを上手に使えない「やせにくい体」になってしまう。カロリーの気にならないなら、低脂肪・高たんぱく質の食材を選び、ゆでる・蒸すなどして、余分な脂肪を落とすことをお勧めします。魚もマグロなら赤身を、アジやカツオの青背の魚もお勧めです。焼くときも、網やテフロン加工のフライパンで油を使わず、カロリー減を心掛けましょう。

②ビタミン・ミネラルはたっぷり取る

代謝の流れをスムーズにしてくれるビタミンやミネラルをたくさん取り、体内に不要なものをため込まないようにすることが重要です!

野菜やきのこ、海藻類などをなるべく毎食食べて、成人が一日に必要な350g以上を確保しましょう。

③主食もしっかり取る

ご飯類はダイエットの敵と見なされがちですが、極端に減らしたり、抜いたりしてしまうと満腹感が得られず、つい間食したり、主食を減らした分おかずを食べ過ぎたりと、カロリーオーバーになることがあります。主食・主菜・副菜をバランスよく食べてこそ、メタボ予防となるのです。

④一口一口よくかむ

最後のポイントは早食いの防止です。一口の量を少なめにしてよくかみましょう。かむことで、唾液の分泌が増し、消化がよくなり、また、満腹中枢が刺激されて食べ過ぎを防ぐことができます。さらに、かむことで交感神経の働きがよくなり、体温が上がってエネルギー代謝が高まることも分かっています。

まずはできることからチャレンジして、代謝のよい身体づくりでメタボ予防をしましょう。

〔健康管理課 管理栄養士〕

情報

BOX

募 集

市営住宅の入居者

募集期間／8月17日(月)～31日(月)

※土・日曜日を除く

<募集住宅>

- みどり住宅(二の5665)…2戸
2DK、簡易耐火平屋建、昭和45～47年度建設
- 池の端住宅(江ヶ崎1470)…1戸
3DK、簡易耐火平屋建、昭和49年度建設

申し込み方法／財政課または各支所にある所定の用紙に記入し、必要書類を添えて財政課管財班へ提出。申し込み(入居)には、一定の条件があります。

問い合わせ先／財政課管財班(☎62-5315)

第3回 消費生活講座(移動教室)

日時／9月16日(水) 午前8時出発(午前7時50分青年の家集合)

研修先／味の素㈱(川崎市)

募集人数／33人(申し込み順)

参加費／無料(昼食各自)

申し込み・問い合わせ先／商工観光課商業振興班(☎62-5874)

催 し 物

「Chageの細道2009」

日時／9月12日(土) 午後5時30分開演

会場／東総文化会館・大ホール

料金／6,800円(全席指定)

※チケットは東総文化会館、チケットぴあ(☎0570-02-9999 Pコード:325-664)、ローソンチケット(☎0570-084-003 Lコード:70159)、イープラス(<http://eplus.jp>)へ。

問い合わせ先／東総文化会館(☎64-2001)

ぬいぐるみ人形ミュージカル

日時／9月6日(日) 午後1時30分開演

場所／いいおかユートピアセンター

内容／「アルプスの少女ハイジ」「ピノキオとサーカスの狐」

料金／無料(全席自由)

問い合わせ先／いいおかユートピアセンター(☎57-6060)

海上ふれあい館(JR飯岡駅) 藤島武夫絵画展

日程／8月16日(日)～30日(日) 午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

問い合わせ先／海上公民館(☎55-2566) ※月曜日・祝日休館

お 知 ら せ

応急手当や救急法を身に付けよう 乳幼児救急法講習会

子どもがのどに異物を詰まらせた、意識がなくなったりしたときなどの正しい対処法を習ってみませんか?家庭でできる応急手当や救急法を身に付けましょう。

日時／9月10日(木) 午後1時30分～3時30分

場所／飯岡保健センター

対象／乳幼児の保護者

内容／心肺蘇生法、異物の吐かせ方
講師／旭市消防本部の職員

締め切り／9月1日(火)まで

申し込み・問い合わせ先／飯岡保健センター(☎57-3113)

交通事故の無料電話相談

交通事故で困っている人の無料相談を行っています。

日程／毎週月～金曜日(祝日を除く)
時間／午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)

弁護士相談／第1～3水曜日 午後1時～4時(要予約)

予約・問い合わせ先／千葉自動車保険請求センター(☎043-284-7955)

アライグマに注意してください!

県内各地で、アライグマによる「農作物」「生活環境」「神社仏閣」への被害が多発しています。アライグマは繁殖力が高く、天敵がないため増え続け、ほかの生き物を食べて生態系に悪影響を及ぼす可能性もあります。

市では、千葉県アライグマ防除実施計画に基づき、捕獲などを実施します。アライグマを見つけた場合や爪あと、足跡を発見した場合、屋根裏の不審な音や農作物の被害など「おかしいな?」と感じたときは、市役所環境課(☎62-5328)へ連絡してください。

※性格は攻撃的で、手を出すとけがをする危険性があります。



万が一の災害発生時に備え 「一日赤十字」

万が一の災害発生時に備え、避難所などでの炊き出し訓練や「いざというとき」のとっさの手当てや事故防止に必要な知識と技術の普及を行います。

日時／8月27日(木) 午前10時～午後3時

場所／いいおかユートピアセンター

内容／炊き出し訓練、災害時の応急手当、止血法、三角巾の使い方、AEDの使い方、講義「災害時にどう備えるか」

問い合わせ先／旭市赤十字奉仕団事務局(☎62-5317・社会福祉課社会班内)

旭の味覚がぎゅーしり! 「旭フレッシュ宅配便」

発送日／8月25日(火)

内容／梨、アスパラガス、トマトなど

価格／レギュラーサイズ2,980円、ビッグサイズ5,000円 ※税・送料込み

締め切り／8月20日(木)

申し込み先／旭市農産物直売館(☎62-6048) ※年中無休

Do! ボランティア

(28)



わずかでも役に立てるよう 飯岡退職職員親和会



私たちのグループは、住みよ
い明るいまちづくりのための環
境美化に協力しようと、昭和57
年5月に、旧飯岡町役場を退職
した職員55人で発足しました。
現在は、平成17年7月の新旭市
誕生後に市役所を退職した職員
を含め、旧飯岡町内に居住して
いる60歳代から80歳代の男女20
人が中心となって活動していま
す。

主に6月から8月の海水浴シー
ズン、日曜日の早朝に、観光客
の多い食彩の宿いおか周辺や
みなと公園、飯岡海水浴場や海
岸道路を中心に、空き缶やペッ
トボトル、弁当の容器などのご
みを、1時間ほどかけて拾い集
めます。分別して集めたごみは、
毎回20袋以上にもなります。7
月下旬に開催される「いとおか
Y・O・U・遊フェスティバル」の
花火大会が行われた翌日は驚く
ほどのごみの量で、優に1時間
以上はかかってしまいます。集
めたごみは、その都度市役所に
回収してもらいます。

作業中に、地域の人から「お
はようございます。ご苦労様で
す」と時々声を掛けられますが、
とてもうれしいですし、やりが
いも感じます。また地域の人は
もとより、市外からのお客さん
にもきれいで気持ちいい時間を

「また行きたい」と思っていただければ幸
いです。

また、ごみを回収した後、毎
日朝食会を行い、いろいろな話
に花を咲かせています。これも
また、一つの楽しみです。

私たちのグループも、発足し
てから27年が経過しました。こ
れからも、地域の人たちに喜ん
でいただけるよう、住みよい明
るいまちづくりのために少しで
もお役に立てるよう、会員一同
協力して活動していきたいと思
います。



〈問い合わせ先〉
旭市社会福祉協議会
☎ 57-5577

データシート

人のうごき

【8月1日現在】	前月比
人口	70,369人 (-28人)
男	34,425人 (+2人)
女	35,944人 (-30人)
世帯数	24,733世帯(+21世帯)

【7月分の移動】

転入	135人	出生	47人
転出	151人	死亡	59人

火災

【7月分】	今年の累計
建物火災	1件 (12件)
その他火災	0件 (8件)

交通事故

【7月分】	今年の累計
事故件数	179件 (1152件)
死亡者数	0人 (3人)

消費生活 豆知識



⑤ 必ずもうかるって本当? ~未公開株~

「業者から上場間近で必ずもうかる」と言われ、未公開株を購入したが、発行会社に問い合わせたら、上場の予定は無いと言われた」「未公開株を購入したが、株券が送られてこない。勧誘した業者と連絡がとれなくなった。」

未公開株とは、証券取引所などに上場していない株のことをいいます。新規上場された場合、初値が購入価格の数倍になるケースもあり注目されていますが、悪質業者の勧誘によるトラブルも問題になっています。

未公開株の販売などを行うことができるのは、その未公開株の発行会社か、登録を受けた証券会社に限られますので、そのほかの者からの勧誘には十分注意してください。「上場間近」「値上がり確実」といったセールストークをそのまま信用することは危険です。株式に「値上がり確実」などということはありません。少しでも不審に思ったら購入を見合わせましょう。

参考資料：金融庁ホームページ「未公開株購入の勧誘にご注意」

問い合わせ先／商工観光課商業振興班 (☎62-5874)

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。